

2021 年度実施概要

学校名

大牟田市立天領小学校

採択活動名

有明海や三池港を生かした大牟田海洋教育プロジェクト

実施単元 ※実施した単元の数に応じて記載してください

単元名	学年	教科
1. 『有明海・見つけたよ、海の生き物！』	3年	海の時間
2. 『つながろう！つなげよう！私たちと諏訪川と有明海』	4年	海の時間
3. 『有明海の魅力発見 大作戦！』	5年	海の時間
4. 『海と人との共生』	6年	海の時間

取り組みの概要

「3年 海の時間『有明海・見つけたよ、海の生きもの！』」

有明海の干潟観察会をきっかけに、干潟に棲む様々な生物の特徴などについて調べ、調べたことをもとに生物の多様性や自然環境の保護について考えていった。そして、これまで学んだことや自分たちの考えなどを下級生に発信した。また、そこに至るまで、Zoom 会議を開催し、市内3校の海洋教育推進校と2回の意見交流を行った。



「4年 海の時間『つながろう！つなげよう！私たちと諏訪川と有明海』」

諏訪川下流域で行ったゴミ調査や、中流域で行ったカヌー体験教室で考えたことをもとに学習課題を設定し、校区にある諏訪川下流域の生き物や、生き物を取り巻く環境などについての学習を展開した。下流域では生活排水の影響を強く受けることや、生き物が生きる環境を生活ごみが汚染していることなどを学び、環境保護のために自分たちができることを考え、自分たちの考えをポスターやリーフレットに表し、地域のスーパーや公共施設、下級生などに発信した。また、市内3校と2回の Zoom 会議を行い、意見交流を行った。



「5年 海の時間『有明海の魅力発見 大作戦！』」

三池港に隣接した旧三池海水浴場におけるゴミ調査をもとに、三池港と人の生活とのつながりについて、「有明海苔」「三池港を取り巻く運輸」「海洋ゴミ」に目を向けて学習を展開した。有明海で養殖される有明海苔生産の様子や消費の現状、三池港が今も現役の貿易港として活躍しわたしたちの生活を豊かにしていること、人々の生活から出た海洋ゴミの現状などを学び、有明海の素晴らしさを地域や保護者、下級生に伝えるために壁新聞やリーフレットにまとめ発信した。また、市内3校と2回の Zoom 会議を行い、意見交流を行った。



「6年 海の時間『海と人の共生』」

これまでの3年間の学びをふり返ったり、出前授業を受けたりする中で、「観光・産業」「環境」「食」「防災・減災」をテーマとして、海と人の関係について学習を展開した。その中で沿岸部開発を進めると人の暮らしは豊かになるが、自然環境を守ることが難しくなるので、双方のバランスを取ることが最も重要であることに気づき、自分たちの考えを4校交流 Zoom 会議の中で意見交流をした。また、「海洋教育子どもサミット 2022in おおむた」で九州地区の海洋教育推進校と意見交流をしたり、「全国海洋教育サミット」で発信したりした。また、自分たちが考えた伝えたいことを Face Book を使って発信した。

